講師：井上正康先生のメッセージ

私はワクチン否定派ではありませんが、過剰なコロナ恐怖感に煽られて接種している『人類初の遺伝子ワクチン』は、有効性と安全性が不明な『第四相臨床試験中の実験試薬』であり、極めて慎重な対応が不可欠です。

井上先生：主な著書ご紹介

●「マスクを捨てよ、町へ出よう」
免疫力を取り戻すために私たちができること
松田学氏共著　出版社：方丈社

検証されないまま浸透する遺伝子ワクチンのゆくえを、井上正康先生が医学、松田学氏が政治・経済の見地から分析、対談し、新型コロナ、遺伝子ワクチンの行く末を正確に分析、予測する。

●「コロナとワクチンの全貌」
小林よしのり共著　出版社：小学館

ベストセラー『コロナ論!』、『コロナ脳』の著者で漫画家の小林よしのり氏と、医学者の井上正康先生が、テレビや新聞では報道されない「コロナとワクチンの全貌」を語り尽くす!

●「本当はこわくない 新型コロナウイルス」
出版社：方丈社

新型コロナウイルスの本質を理解することで、どこまで恐れるべきかがわかる!

●「コロナワクチン幻想を切る」
出版社：ヒカルランド

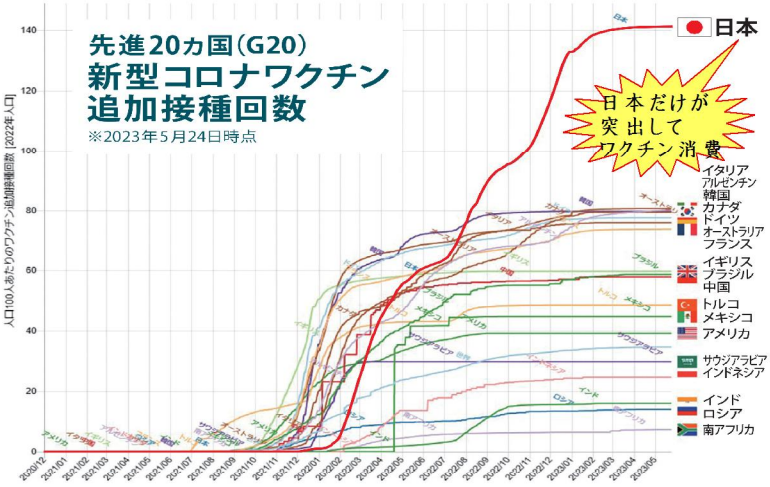
新型コロナは感染力が6倍強くなった風邪コロナウイルス!
新型コロナウイルスとの正しい付き合い方!

●「新型コロナが本当にこわくなくなる本」
松田学氏共著　　出版社：方丈社

PCR検査の是非、ワクチンの安全性など井上先生が医学的見地から、松田学氏が政治、経済、社会的見地から分析する。

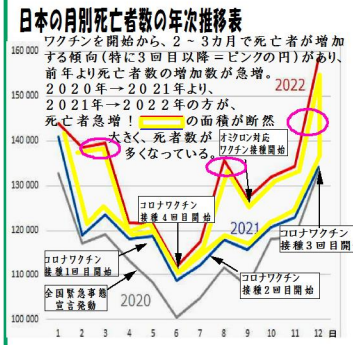
新型コロナワクチンが始まってから、多死時代が加速している

世界で日本だけが続けている追加接種

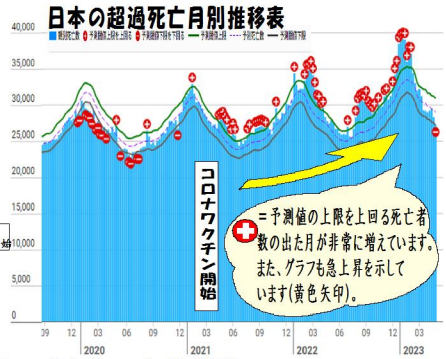


（出典：札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所ゲノム医科学部門）

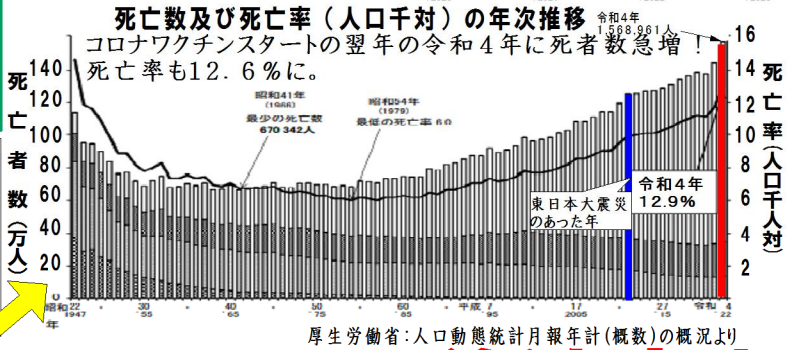
日本の月別死亡者数の年次推移表



日本の超過死亡月別推移表



死亡数及び死亡率（人口千対）の年次推移



厚生労働省：人口動態統計月報年計(概数)の概況より

東日本大震災の年の死亡数は125万3463人（青棒グラフ）で、前年の119万7012人より5万6451人増加し、死亡率（人口千対）は9.9％で、前年は9.5％で、大震災があっても0.4％しか増えていない。2019年（コロナ前）の死亡率は11，2％、2020年は11.1％、2021年は11.7％、2022年は12.6％になっていて、ワクチン開始後の死亡率増加は＋0.6％、＋0.9％と大震災時の増加率の2倍になっている異常事態。

あなたの体調不良はワクチン後遺症？

ワクチン接種が進む中、全国で原因不明の体調不良が多発しています。メディアではほとんど取り上げられず、その事実を国民が知らないまま、さらなる追加接種、未成年への接種が進んでいます。厚労省も因果関係が不明だとして責任を認めようとしません。病院へ行っても、ワクチンが原因だとは認めず、治療もしてもらえず、泣き寝入りが現状です。

⚠ コロナワクチン後遺症の代表的な症状

長引く頭痛、胸痛、皮膚疾患、不正出血、聴覚異常、視力低下、心筋炎、関節痛、歩行困難、顔面麻痺、記憶力低下、帯状疱疹、脱毛、ブレインフォグなど、症状は多岐にわたります。